

タシロスゲ

Carex sociata Boott

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 県内での生育範囲は狭く、個体数も少ない。河川工事や道路工事などにより、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 大野川上流域

分布域 四国(高知) 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄
台湾

生育環境 低地の河岸や林縁。

現 状 河岸改修や道路工事などで消滅した生育地がある。

ツクシナルコ

Carex subcernua Ohwi

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 II

選定理由 県内では「中津・宇佐低地」のため池に集中して生育している。池畔の環境悪化や池の補修などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 中津・宇佐低地

分布域 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)

生育環境 低地の池畔や湿地。

現 状 「中津・宇佐低地」のため池には、所々に株をつくって群生しているが、築堤近くや池の上辺では、生育状態の衰退した所がみられる。

備 考 九州の特産種。

アゼスゲ

Carex thunbergii Steud.

カヤツリグサ科
Cyperaceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の生育地は主として火山性高原の湿地に散在し、しばしば群生する。高原の湿地開発や河川改修などで、生育地の減少が懸念される。

県内分布 中津・宇佐低地、津江山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群

分布域 北海道 本州 四国 九州(大分)

生育環境 丘陵地から山地の湿地や水流辺。

現 状 かなり安定した湿地や水流辺に群生するが、ヤマアゼスゲ (*C. heterolepis*) やカサスゲ (*C. dispalata*) などより少なく、丘陵地の生育地では消滅した所がある。

備 考 本県は、分布の南限域にあたる。